座談会

知事、若い世代と語る

― 知事を囲む意見交換会の記録（要旨）―

県では、このたび明治百年にちなんで、新しい熊本県をきずくために、若い人たちの新鮮な意見を期待して、県への提言制度を設けました。これは県民の皆さんの声を聞き、ご意見を県政に反映させる、いわゆる公聴事業の一環として考えられたもので、この新しい制度を「ユース・ブレーン」（若い頭脳）と呼ぶことにしました。

ところで、今回寄せられたレポートは、百九十九篇に達し、審査の結果、上田勝利さんほか十人の方々のレポートが入選と決まりました。そして、さる十月二十八日知事応接室で開かれた「知事を囲む意見交換会」に出席して頂きました。

―出席者　注・発言順・敬称略―

恒松敏子（主婦）
前崎正隆（農業）
上田勝利（会社員）
綾部民生（森林組合職員）
土屋歳明（農業）
池田茂次（漁業）
小形賢治（公務員）
中西恵吾（農業）
後藤純夫（会社員）
佐藤一誠（農業）
熊本県知事　寺本広作
△司会▽　広報外事課長　福島和夫

★ユース・ブレーン入選レポートの内容については26ページから32ページに掲載しました。

〝阿蘇高原開発にモデル農家を〟〝不知火海横断遠泳を〟といった、農業問題から観光対策にいたるアイデア、そして〝若者に島を解放せよ〟といった意欲的な人づくり対策まで〈若い頭脳（ユース・ブレーン）〉たちの構想と夢は果しない。

〝きょうは聞き役にまわって……〟寺本知事

知事　お忙しいところをご出席いただきましてありがとうございました。先だって、県で若い方々から県知事に知恵をかしていただこうとユース・ブレーンという制度を考えまして募集いたしましたところ、皆さんから立派なレポートをお出しいただきまして誠にありがとうございました。なかにはそのまま県政に取り入れられるものもあり、また一応各部局で練ってみた上でないと県政の軌道に乗りにくいものもございましたけれども、いずれにしましても非常によい着想のものが多く、感謝いたしております。お礼を申し上げますと同時に、皆さんとしてはまだおっしゃり足りん事が相当残っているのではなかろうかと思いますので、じかにお目にかかって、ひとつおっしゃり足りん分を伺わしていただこうと思ってこのような会合をもったわけです。

きょうは、広報外事課の企画によると私はだいたい聞き役にまわるたて前だそうです。しかし、聞き役と言っても私が黙っていたのではなかなかものも言いにくいだろうと思いますので、皆さんのご意見なり、おたずねなりにいろいろ申し上げてみたいと思います。それで、どうぞひとつ腹臓のないご意見をお聞かせ下さいますようお願いいたしまして私の挨拶といたします。

レポートの内容を大別してみますと、ほとんどの方が、農業と観光に意見を出しておられます。そこで、まず取り付き安い観光の問題から入って行きたいと思います。恒松さん、いかがですか。

金峰山に歌碑林をつくろう

恒松　私は、金峰山の開発についての意見を書いたのですが、歌人、俳人など芸術家を育て、こうした人たちとタイアップして、金峰山に、歌碑林、句碑林をつくるというのはどうかと考えたわけです。その場合、金峰山全山というふうに、徹底してやらないと、価値がないのではないかと思います。

―　全国の歌人の大会をここでやるとかのご提案もありましたね。

恒松　やはり観光のP・Rというものは、個性的でないといけないと思ったからです。

前崎　P・Rということでは、盛岡市の宮沢賢治祭。これはドル箱というほど金は落ちませんが、それなりに非常に観光資源につながっていると思うのですが。

知事　賢治祭というのは盛大にやっていますか。

前崎　私は一回しか見ていませんが、賢治の生誕記念日に賢治がいろんなことをやった土地でキャンプファイヤとか、交歓会などがあって全国からかなり沢山の人が集まるんですね。

知事　観光でご提案なさったのは、他にもどなたかおられたと思いますが、上田さんもそうだったですね。

〝観光P・Rは個性的でないと……〟恒松さん

若者たちに島を解放して……

上田　ええ、一つは現実的なことを、一つは夢みたいなことを。

天草の島を三つか四つ県で買い上げていたゞき、それを青少年活動の場に解放するような計画はどうかなと思います。そこにはヨットハーバーとかいろいろな娯楽施設を沢山作って、独立した国みたいにするんです。そこに入居した人は働く義務もあるし働いただけの給料も貰ってよいという夢みたいなことですけれど。こんな施設があったら県内は勿論、県外からも人が入ってくると思うのです